

2024年3月22日

各位

株式会社北洋銀行  
株式会社北海道二十一世紀総合研究所

## 「ほくよう農業地域活性化ファンド」の出資先が決定しました

## ～株式会社 Frontline 様に 1,000 万円を出資～

株式会社北洋銀行、株式会社北海道二十一世紀総合研究所は、株式会社日本政策金融公庫と共同で設立した「ほくよう農業地域活性化ファンド」から、株式会社 Frontline 様(所在地:北海道旭川市、代表取締役:中谷 仁 様)に1,000万円の出資を行うことを決定しました。本件は当ファンドの第5号出資案件となります。

当社は、上川管内旭川市の若手農業者5名が共同で設立した農業法人です。主に有機米や輸出用米を含むうるち米を生産するほか、小麦や大豆等の穀物を生産。農繁期は地域の福祉施設から障がい者を雇用する等、「農福連携」の取組みを通じて地域社会への貢献も果たしています。

今後、地域農家の高齢化や担い手不足により離農跡地の増加が懸念されるなか、当社が有機米を中心とした規模拡大を行っていくことにより、離農跡地を積極的に引受け、生産基盤を維持する地域農業の中核的存在となること、地域農業の持続的発展に寄与する取組みを行っていくことから、出資を決定いたしました。

当行では農業者の皆さまに対し、出資等による資金供与を含め、経営支援・ビジネスマッチング等のソリューション提供の取組みを進めております。今後とも、農業者の皆さまの多様なニーズに的確に対応しながら、農業への支援を通じ、農村地域の活性化に積極的に取り組んでまいります。

## 記

## 【出資案件概要】

出 資 先 名	株式会社 Frontline(代表取締役 中谷 仁)
所 在 地	北海道旭川市東鷹栖二線十五号 671 番地の 76
出 資 決 定 額	10,000,000 円
出 資 形 態	無議決権株式引受
資 金 使 途	設備資金
事 業 内 容	うるち米(有機米及び特別栽培米を含む)・小麦・大豆等の生産販売

以上



北洋銀行グループは、2018年12月「北洋 SDGs 宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGsに関連するプレスリリースには、該当するSDGsのアイコンを明示しております。

【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。

<ご参考>

■ 「ほくよう農業地域活性化ファンド」事業スキーム図



■「ほくよう農業地域活性化ファンド」概要

項目	内容
ファンド名称	ほくよう農業地域活性化ファンド投資事業有限責任組合
ファンド設立	2019年11月29日
ファンド存続期限	2034年11月28日
無限責任組合員	株式会社北海道二十一世紀総合研究所
有限責任組合員	株式会社北洋銀行、株式会社日本政策金融公庫
総出資約束金額	2億円 【内訳】 株式会社北海道二十一世紀総合研究所 40万円 株式会社北洋銀行 1億円 株式会社日本政策金融公庫 9,960万円
出資対象事業者	北海道内の農業法人(農地所有適格法人を含む)等

以上